

2026年度 事業活動計画書

1. 乗馬トレーニング事業活動

(1) セラピー倶楽部の活動

① 倶楽部会員数について

2026年度の倶楽部会員数は現在レッスン枠とボランティア不足によりこれ以上の会員を増やす事が困難な為、通常会員数 18 名・チケット会員数 24 名計 42 名の現状維持で活動する

会員区分	2025 年度計画	2025 年度末	2026 年度計画	備 考
障がい・高齢者会員	20	15	15	
子供会員	3	1	1	
一般会員	3	2	2	
小計(通常会員)	26	18	18	
チケット会員	17	24	24	冬期休み 4 名含む
合計	43	42	42	

② トレーニング指導体制について

新年度の指導体制は、福島貴史インストラクターが、堤・菅沼ボランティアインストラクターの支援を受ける体制で継続。

③ インストラクターインターン研修について

2023 年度から研修中である 2 名のインストラクターアシスタントは、新年度から目標の 2 年目を迎え 4 月から 1 年間、堤インストラクターの指導の下、研修を終えた段階で正式なインストラクターと認定。又、引き続き新規アシスタントも募集し養成に努める。

④ インストラクター資格・認定制度の構築について

当センターの障がい者乗馬トレーニングは、イギリスの資格保持者が習得したカルキュラムをベースに独自に特化させ提供して来た。しかし今後の指導者不足は否めない事から後進の育成は、個別のスキルが付けられる様な研修プログラムを構築し志願者の増員を図る。5 月 9 日(土)に作業療法士を迎え「インストラクター研修」を実施予定

⑤ 新年度ボランティア登録は 34 名でスタートとなり、1 日平均 8~10 名の持続的な参加が望ましい事から、辞退の人数も視野に入れて、新規 10 名以上の登録を目指したい。

⑥ 2025 年度 11 月に悪天候の為中止となった「ボランティア研修会」を 6 月 21 日開催予定

(2) 施設管理業務

① 現状の馬場・厩舎・関連施設及び保有馬は、施設・動物管理責任者(福島インストラクター)の下で日常的に適正な維持管理に努める。

② 平日の施設及び馬管理業務のパート雇用者は、村岡・北村・間中の 3 名体制で始動、センターが新たに取組む業務への参加も要請する。但し依然として職員一人勤務日が有る為、HP で補充人員募集を再開。

③ 新年度は 4 月 21 日に 4 歳のどさんこ馬を迎え、保有馬の総数は 8 頭になる。

依然として今後も老齢馬が控えている事を考え、更なるどさんこ馬導入を検討する。

④ 昨年の落雪被害があった洗い場・倉庫の修復は隣接建物の新入居者の雪下ろしの状況が未だ把握できない為、今年度も現状維持で修復工事の時期は様子を見る事とした。

⑤ 丸馬場・角馬場の杭の腐敗が酷い為、単管パイプ化で整備を実施予定。

⑥ 厩舎基礎改修・厩舎天井遮熱工事・馬房内ゴムマット施工(馬滑り防止)を実施予定。

⑦ 現在の騎乗スロープの下に傾斜が有り、馬の負担軽減の為、馬場直結の新設を検討。

(3) 飼養管理

- ① 酪農学園大学生の教育実習の場として、センター飼養馬を活用する件は引続き、レッスン日以外の月末の火曜日に受入れ継続する。
- ② 飼養馬の日常的健康管理及び定期健診、治療や年2回のワクチン接種等も酪農学園大学に依頼する。

2. 啓発普及事業活動

- (1) セラピー会員の募集は、HP・パンフレット・チラシの配布と口コミ等により行う。
- (2) 情報誌「お便り」は、年3回以上を目標に発行する。
- (3) 新デザイン Tシャツ・パーカー・手作り提供品等の販売を継続実行する。
- (4) インスタグラムの配信を今後も継続し、会員への情報提供や啓発に努める。
- (5) 「イオン黄色いレシートキャンペーン」2026年度登録団体に決定、店頭活動に参加する。
- (6) ドックラン札幌ペットクラブ(北広島市仁別 414)に募金箱の設置を継続。

3. 地域交流事業活動

(1) そらぶちキッズキャンプの受託事業

業務は現地スタッフトレーニング初回実施を含む日帰りデイキャンプが6回、これ迄中断されていたキッズキャンプ1回の全7回実施予定。馬車運用トレーニング及び乗馬トレーニング7回構成に対して馬2頭を運搬貸与し、これに伴う指導員派遣は、障がい者乗馬トレーニングと馬車運用業務担当指導員の構成で2名を派遣する。又、後任として現在研修中のインターン生2名を交互に1名同行させる。

(2) 学校関連の受託事業

2020年に初めて受入れた札幌市立盤溪小学校の「職場体験」をコロナ渦以降中断されてたが、昨年度再開し今年度も継続の可能性があり、その場合受入れを予定する。

4. 一般管理業務

(1) 事務局員雇用について

現在ボランティアの事務局員一人体制で実務作業を実施の為、非常時や今後の局員交替に備え、他にも実務を把握している者が必要で有る事から、将来事務局員新規雇用を視野に、果たして持続的に経費の捻出が可能か募集要件を含めた協議をしていく事とする。

(2) 一般人件費・旅費交通費について

事務局員雇用の場合の年間予算見積りは週3日(4h/1日)の場合人件費62万円・交通費6万円合計68万円の見込みとなり、何れも今年度の施設管理費予算(400万円)の決済が落ちてからの検討となる。

5. 事務局運営体制

- (1) 本年度も昨年に引き続き、福島貴史事務局長が統括し、大塚事務局員の実務協力運営を維持していく。
- (2) 事務局長は、事務局運営について運営陣と協議し、理事長承認を得て関係者に周知させ、円滑な事務局運営に努める。
- (3) センター全体の組織構成員(役員・職員・ボランティア)による全体会を開催予定。様々な立場の視点から意見交換する事で、連携を強化し円滑な組織運営を目指す。第1回は6月のボランティア研修終了以降に実施を検討する(全構成員38名)

2026年度 事業活動収支計画

科 目	25年度決算額	26年度予算額	増 減	備 考
1. 会 費	417,000	412,000	-5,000	
①個人正会員	112,000	112,000	0	16名
②団体正会員	60,000	60,000	0	2団体
③個人賛助会員	175,000	170,000	-5,000	34口
④団体賛助会員	70,000	70,000	0	7口
2. 乗馬トレーニング業務	6,335,300	5,881,900	-453,400	
① H区分会員	3,546,400	3,379,200	-167,200	16名 障がい者・高齢者・子供
② N区分会員	460,800	460,800	0	2名 一般
③ チケット会費	1,474,700	1,461,900	-12,800	25名(H区分63枚・N区分12枚)
④ 入会金	280,000	80,000	-200,000	2名(チケット2名)
⑤ 体験ビジター等	573,400	500,000	-73,400	馬車含む
3. 啓発普及業務	357,129	350,000	-7,129	イオンカード・パーカーTシャツ・カレンダー他
4. 地域交流業務	2,928,590	3,495,690	567,100	そらぷち派遣業務全7回
5. 寄付金	2,814,780	800,000	-2,014,780	J&J未定・他見込み分
6. 助成業務	0	0	0	
7. 協力支援事業	0	0	0	現場実習受入れ等未定
8. その他	39,775	10,000	-29,775	
①雑収入	23,450	0	-23,450	
②受取利息	16,325	10,000	-6,325	
収 入 計	12,892,574	10,949,590	-1,942,984	
[2] 支 出				
科 目	25年度決算額	26年度予算額	増 減	備 考
(1) 事業費				
1. 乗馬トレーニング業務	8,842,096	11,986,000	3,143,904	
① 人件費	6,122,571	6,170,000	47,429	社会保険料・労働保険料・スポーツ安全保険含む
② 旅費交通費	179,300	216,000	36,700	職員1名・パート3名・増員1名分
③ 施設管理費	981,772	3,570,000	2,588,228	馬房整備・新馬・洗い場修復・ガソリン・備品他
④ 飼養管理費	1,430,347	1,860,000	429,653	飼料・馬治療費・水道代他
⑤ 倶楽部諸費	128,106	170,000	41,894	ボランティア保険・研修・会員プレゼント他
2. 啓発普及費	214,753	227,500	12,747	販促品仕入れ他
3. 地域交流業務	1,472,307	1,626,600	154,293	馬運搬・旅費交通費・派遣手当
4. 助成業務	0	0	0	
事業費計	10,529,156	13,840,100	3,310,944	
(2) 一般管理費				
1. 人件費	0	0	0	事務局員給与未定
2. 福利厚生費	161,594	50,000	-111,594	医薬品・飲料代・社会保険料他
3. 会 議 費	0	2,000	2,000	総会会議室使用料
4. 一般旅費交通費	0	0	0	事務局員交通費未定
5. 通信運搬費	306,808	310,000	3,192	コピー機リース料含む
6. 水道光熱費	315,559	320,000	4,441	電気料・灯油代
7. 雑 費	50,645	50,000	-645	振込手数料他
8. 消耗品費	43,593	40,000	-3,593	時務用品・トイレトペーパー他
9. 負担金及び損料	245,175	250,000	4,825	地代12万・HP保守料・コピー料他
10. 租税公課	10,700	10,700	0	自動車税・家屋固定資産税・印紙代
11. 借入金利息	693	0	-693	2025年4月繰り上げ一括返済
12. 未収金損失	0	0	0	
13. 減価償却費	574,999	500,000	-74,999	馬4頭(2025年度パール償却終了)
一般管理費計	1,709,766	1,532,700	-177,066	
支 出 計	12,238,922	15,372,800	3,235,945	
經常収支差額(単年度収支)	653,652	-4,423,210	-5,076,862	赤字分は前期繰越資産を取崩し充当
前期財産繰越額	11,700,276	12,353,928	653,652	
次期財産繰越額	12,353,928	7,930,718	-4,423,210	R7固定資産額 2,193,754円含む
借入金残高	0	0	0	2025年4月繰り上げ一括返済